

# 新開橋

## 日本で最初の波形鋼板ウェブ橋

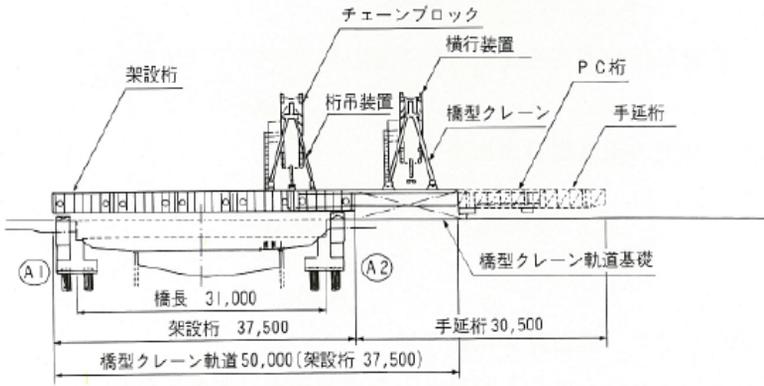


施主	新潟県
施工場所	新潟県新潟市
完成年	1993年
橋長	31m
形式	単純波形鋼板ウェブ橋
全幅	14.8m
桁高	1.9m
桁本数	2本
架設工法	2連式架設桁架設工法
受賞	PC技術協会 作品部門 1993年
参考文献	橋梁と基礎 1994年 9月 プレストレストコンクリート 1995年 No.2

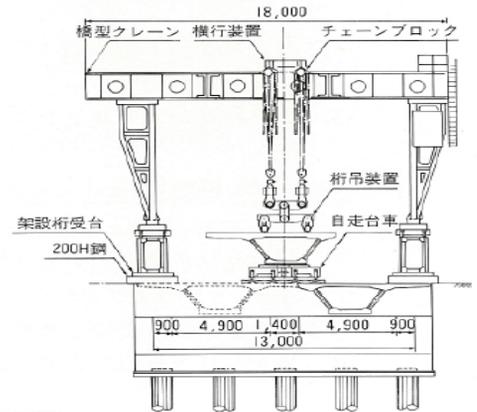
本橋は、フランスで実用化されていた波形鋼板ウェブ橋の技術を日本に導入し、初めて架設された橋である。

波形鋼板は、プレストレスによる圧縮力に抵抗しないので、プレストレスを効率よく下床版に導入することができる。PC鋼材をウェブ内に配置することができないため、下床版内の内ケーブルと外ケーブルが併用されている。2本の桁は、橋台背面で製作され、2連式の架設桁により架設された。1本の主桁は、逆台形の箱桁形状であり、2本の主桁で都合4枚のウェブを有する断面となっている。本橋の完成後、静的載荷試験および振動試験が行われ、その性能が確認された。

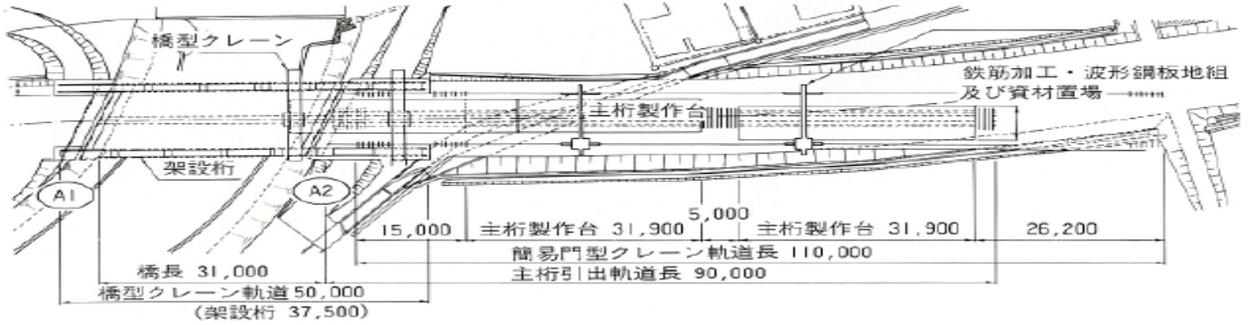
側面図



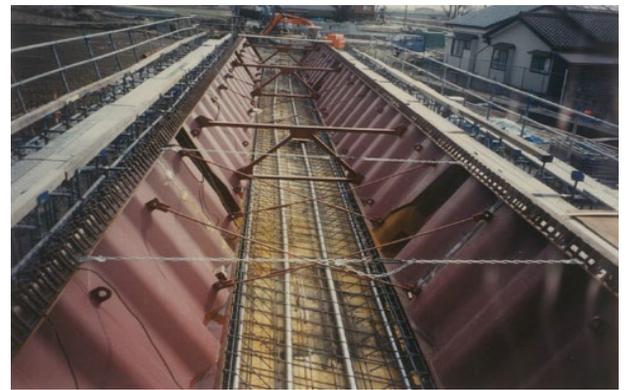
断面図



平面図



波形鋼板ウェブ調整



波形鋼板ウェブ組立完了



デブイエータの組立て



主桁架設